



[校訓 明朗・闊達 自主・力行]

大津市立打出中学校  
 校長 澤田 一彦  
 大津市本宮二丁目4番1号  
 ☎522-6733 fax526-2364

## 節目を生かす

校長 澤田 一彦

3学期が始まりました。新しい年を迎え、生徒の皆さんにとっても大きな「節目(ふしめ)」となります。

「節」といえば里山のタケや琵琶湖のヨシを想像します。タケやヨシは、はやく生長するために「節」を作ります。「節」を作ること、茎を折れにくくしてさらに高く伸びることができます。そして、少々の風が吹いても、しなやかで簡単には折れません。

私たちも同様に、周りの環境が変わる節目の時期に、自分の成長をかみしめることで、これまで育んできた力をしっかりと閉じ込めて、新しい段階へ一層成長できるはずです。「節目」は、気持ちを切り替えたり、新たな自分を見つけたりするターニングポイントとして大きな意味を持っています。

生徒の皆さんは、今年をどんな1年にしたいですか。もう今年のご目標は決まりましたか。皆さんは自分が思っている以上に、やればできる可能性を秘めています。「今年こそは～をします」、「今年からは～をします」と、一人ひとりが発揮する力が、打出中学校をさらに伸ばす原動力にもなります。一年の始まり、3学期の始まりに、しっかりと「節目」をつくって進んでいきましょう。

ところで、時間は誰にでも平等に与えられていますが、減ることはあっても増やすことはできません。自分の時間を大切につかうとともに、決して人の時間を奪うことのないように、一年の「節目」にあたって、「当たり前にする事」をもう一度意識していきましょう。3学期も、打出中学生の元気で明るい学校生活を送っている姿が多く見られることを期待しています。

保護者の皆様、昨年は本校教育にご理解ご協力を賜り、ありがとうございました。本年も子どもたちの健やかな成長のために、ご支援くださいますようよろしくお願いいたします。

## 新しい年のスタートに ～午年に寄せて～

新しい年を迎え、校内にも清々しい空気が満ちています。今年は午年。古くから馬は「勢い」「前進」「努力の美」を象徴する動物として親しまれてきました。力強く大地を駆ける馬の姿は、私たちに「一步を踏み出す勇気」と「継続する力」の大切さを思い出させてくれます。

新年は、気持ちを新たに自分自身を見つめ直す絶好の機会です。学習面でも生活面でも、昨年の自分より少しだけ成長することを目標にしてみましょう。大きな目標でなくても構いません。「毎日10分だけ読書をする」「授業中の発言を一度増やす」「友だちに自分から声をかけてみる」など、小さな挑戦の積み重ねが、やがて大きな力になります。午年の勢いにあやかりながら、一人ひとりが自分のペースで前へ進んでいく一年にしていきたいものです。仲間と支え合い、励まし合いながら、今年も打出中学校が明るく活気に満ちた場所となることを願っています。



